

できる楽しさいっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい

令和7年度5月号



早稲田小だより

1年43名 2年53名 3年57名
4年68名 5年63名 6年61名
計 347名



ほめほめ大作戦！「幸せの黒板」

校長 中西 健二

この間 4組の教室に遊びに行った。

「あっ校長先生だあ」といつもキラキラと瞳を輝かせ笑顔を見せてくれる。

「昨日の夜 ブランデで会ったんだよね」などとたくさん話しかけてくれる。

実に楽しい。ふと黒板を見ると

「〇〇さんは〇〇さんにとてもやさしくしてあげていました」

「〇〇さんは苦手な国語を一生懸命がんばりました」 などなど

子供たち全員のよいところが黒板いっぱい書いてある。まさに「幸せの黒板」

担任の松浦先生が昨日1日の学校生活で 一人一人の素敵な部分を見取って板書してくださっていた。

子ども達が いつも笑顔な理由の一つがわかった気がした。

時は遡るが6年生の準備登校4月4日。1年生の入学式のために6年生がそうじをしてくれた。このそうじがすばらしい。水飲み場の排水口のゴミ受けを雑巾でピカピカになるまで磨いている男の子。お礼を言うと「はじめはぬるぬるしてたんですよ」と答えてくれた。1年生が使う児童用玄関では すのこを持ち上げて すのこの裏に付いていた埃をきれいに落としてから床を掃いてくれていた。

「そうじで心を磨く」という言葉があるが 6年生はまさにその通り。

本校の最高学年6年生は 素敵である。

しかし 昨年度の県の学力テストの意識調査において「自分には良いところがあるか」という問いに対して 自信をもって「はい」と答えた児童の割合が本校の現5年生、6年生とも市や県と比較して約 10 ポイントも低かった。

もしかしたら自分たちの良いところを 自分たちで気が付いていないのではないかと思い 「ほめほめ大作戦」を4月に開始。先生方には必ず名前を付けて よい行いをした子を沢山ほめてあげてください とお願いをしている。

大人が子供達の良いところを価値付けてあげて自信をもてるようにしてあげたい。早稲田小の子供達は 素晴らしいところが沢山ある。